

# 東海市都市計画マスタープラン

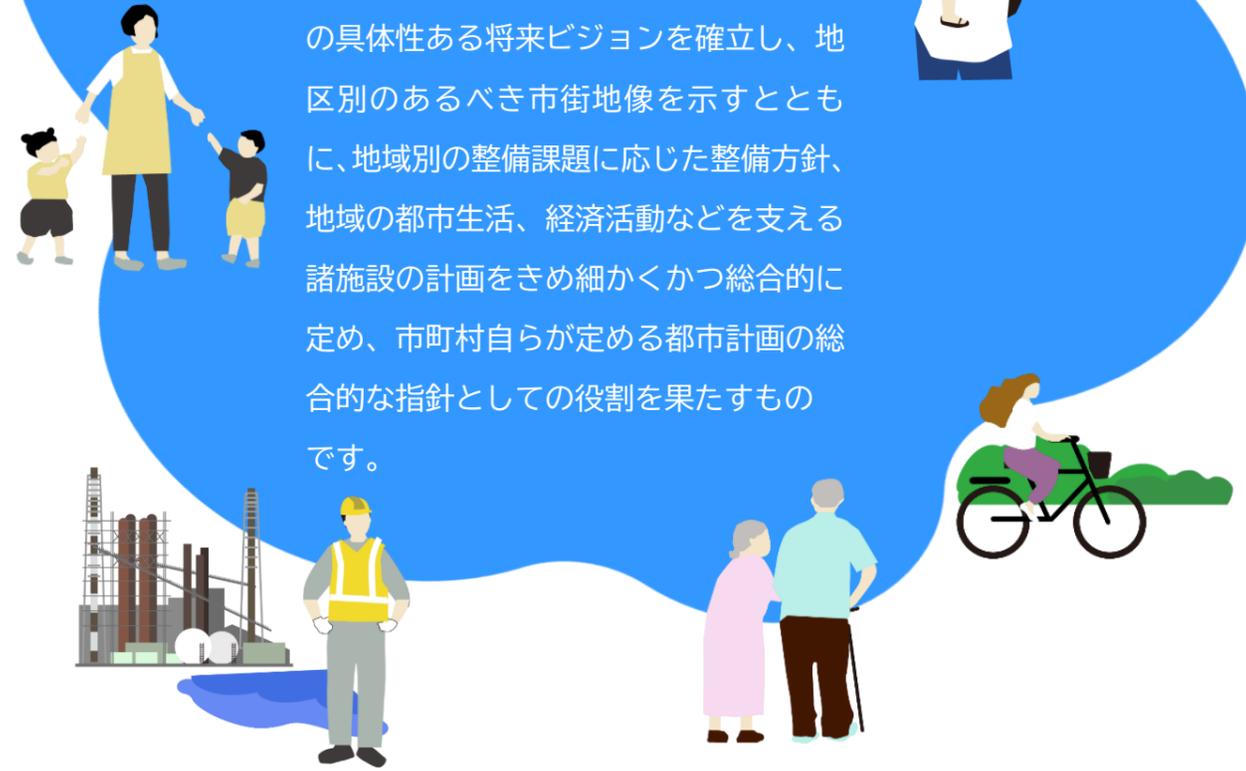
概要版

(本編の表紙に合わせる)

令和6年(2024年) 3月  
東海市

## 都市計画マスタープランとは？

住民の意見を反映しながら、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、地域別の整備課題に応じた整備方針、地域の都市生活、経済活動などを支える諸施設の計画をきめ細かくかつ総合的に定め、市町村自らが定める都市計画の総合的な指針としての役割を果たすものです。



## 法体系における位置付け

知多都市計画区域の整備、開発及び保全の方針  
(知多都市計画区域マスタープラン)

東海市を含む知多都市計画区域の将来像を明確にする  
とともに、その実現に向けての道筋を広域的な見地から  
明らかにした愛知県の指針

第7次東海市総合計画

計画的な行政運営を進める上での総合的な指針

## 東海市都市計画マスタープラン

### 全体構想

目指すべき将来像の実現に向けた個々の都市計画(将来の土地利用、都市施設の整備等)の大きな方針(都市づくり全体の道筋)を明らかにしたもの

### 地域別構想

区分した各地域の具体的なまちづくり方針を明らかにしたもの

### 立地適正化計画

居住機能や医療・福祉等の都市機能の立地、公共交通等に関する包括的なマスタープラン

## 関連計画

- ・東海市公共施設等総合管理計画
- ・第2次東海市環境基本計画
- ・東海市地球温暖化対策実行計画
- ・東海農業振興地域整備計画
- ・東海市観光ビジョン
- ・東海市地域防災計画
- ・東海市地域強靱化計画
- ・東海市地域公共交通計画
- ・東海市総合交通戦略
- ・東海市空家等対策計画
- ・東海市建築物耐震改修促進計画
- ・東海市緑の基本計画 ほか

# 都市づくりの目標

## 住みやすく、住み続けられる都市づくり

- バスなどの公共交通において都市基盤（道路網・駅前広場など）を整備・活用することにより最適なルートと定時性を確保し、利便性が高い公共交通を目指します。
- 自然を親しむエコプロムナードなどの歩行空間の整備や、街路樹や生垣など市街地の緑化の促進による魅力ある緑の創出によって、健康で快適な都市を目指します。
- 加木屋中ノ池駅周辺の都市機能を充実させ、医職住の整った市街地の形成を目指します。
- 道路、橋りょうなどのインフラ施設の機能を適切に維持し、安全な都市施設を目指します。
- 空き家・空き地の原因となる狭あい道路の解消や、市街地内に残る空き地や資材置き場などの未利用地の宅地化による人口の定着により、住み続けられる都市を目指します。
- バスなどの公共交通における自動運転などの新技術活用の検討により、利便性の高い都市を目指します。

## 豊かな自然を身近に感じられる都市づくり

- カーボンニュートラルを実現するため、二酸化炭素の吸収源対策として緩衝緑地や公園・農地・ため池などの維持・保全を目指します。
- 親水護岸の整備や水辺も含めた公園の整備など、河川や水辺空間を活用した自然を身近に感じられる都市を目指します。

## 災害に強い安心・安全な都市づくり

- 頻発・激甚化する自然災害に対して、被害を軽減するため、河川の適正な管理や未整備区間の整備を進め、水害に強い都市を目指します。
- 災害リスクに対する被害を軽減・防止するため、浸水対策事業や土地の嵩上げ、雨水排水施設の整備など基盤整備を推進し、水害に強い安心・安全な都市を目指します。
- 緊急車両の通行や災害活動に対する支障を解消するため、狭あい道路の解消を進め、災害に強い都市を目指します。

## 多様な世代が交流しやすい、にぎわいある都市づくり

- 太田川駅周辺の都市機能を充実させるため、太田川駅西地区ににぎわい施設を充実させ広域的な交流の場として魅力ある都市を目指します。
- 生活拠点への交通機能を充実させることや、市民館や敬老の家、児童館などの公共施設を再配置することで、日常生活に困ることなく交流やにぎわいの生まれる都市を目指します。

## 持続的な経済の発展を支える都市づくり

- 産業の活力の維持・発展に対し、産業用地を確保しやすくすることや、渋滞対策・道路網の充実により持続的な発展を支える都市を目指します。
- 広域交通体系のインパクトを生かした新たな産業用地を創出できる都市を目指します。
- 本市が有する歴史・文化資源を活用して、多くの人を訪れる魅力ある都市を目指します。

### 目標を支える共通認識

- SDGsへの貢献
- 協働・共創の取り組み

# 主要な都市整備の方針

## 土地利用



加木屋中ノ池駅周辺

### 市街化区域

- 太田川駅西地区では、住居、高次都市機能、交流人口の拡大や産業の発展に向けた施設、教育文化施設などを誘導します。
- 加木屋中部土地画整理事業を推進し、加木屋中ノ池駅などの利便性を生かした良好な居住環境を形成します。
- 太田川駅周辺などの利便性の高い地区では、働き方の多様化に対応する整備の支援を検討します。
- 名和駅西地区では、民間活力を活用した産業機能の立地誘導による産業や物流の集積を図る市街地の形成を促進します。

### 市街化調整区域

- 土地改良事業などにより面的にまとまった一団の農地は、グリーンインフラとして維持・保全を図ります。

### 【新市街地候補地区】

- 住居系では、鉄道駅の利便性を生かし、子育て世代の定住とカーボンニュートラルの実現に向け、住居系市街地の形成を検討します。
- 産業系では、(都)西知多道路による広域アクセス性を生かした産業系市街地を検討するとともに、(都)伊勢湾岸道路大府IC周辺では、新たな産業の立地促進に向けた土地利用を推進します。また、住居系の市街化区域と隣接する場合は、騒音及び日影に対して一層の配慮を求めます。

## 自然環境



加木屋緑地

- 山林や丘陵部の農地・緑地などは都市景観及び防災上も重要な役割を果たしていることから、保全・活用に努めます。
- ため池は、周辺整備を含めた保全・活用方策やため池を活用した浸水対策の強化について検討を進めます。

## 都市施設



(都)西知多道路

- 鉄道駅周辺では、グリーンスローモビリティの導入、自動運転などの新技術やデマンド交通などの新たな取り組みを検討します。
- バス停の待合環境改善やタクシーの利用促進を図ります。
- 本市の交通現況、将来広域交通体系との整合、将来都市像の実現、将来交通需要への対応などから都市計画道路の整備を促進します。
- 市内の交通混雑を解消するため、(都)養父森岡線などの整備を進め、県と連携して(都)瀬戸大部東海線などの4車線化の整備を進めます。
- 狭あい道路などは地域住民と協働して交通安全性及び防災性の向上に向けた整備を地域の同意や気運の高まりを踏まえて進めます。
- 安全で快適な居住環境の創出や自然環境との共生の実現を目指し、大田川、渡内川、中川を軸としたエコプロムナード(花・水・緑の基幹軸)を河川沿いの歩行者・自転車道などとして整備を進めます。
- モビリティ・マネジメントの実施、自動運転やデマンド交通の導入など新たな取り組みを検討します。



緑陽公園

- 大池公園、緑陽公園では、レクリエーション活動が行える場の提供を進めるとともに、広域的な救援活動や復旧活動などの防災機能を有する整備の推進に努めます。
- カーボンニュートラルを実現するため、既存の緩衝緑地や都市緑地では、適正な樹林地管理や間伐、再造林等を実施します。
- コミュニティを始めた団体による公園緑地等の魅力が向上する取り組みを支援します。

## 都市環境及び都市景観



横須賀地区無電柱化

- 「ゼロカーボンシティ」を目指し、地球温暖化対策を推進し、良好な都市環境の形成を推進します。
- 新たに整備する都市計画道路や無電柱化推進計画に位置付けられた道路の無電柱化を実施し、景観の質的向上に努めます。
- 横須賀地区などの歴史文化資源を活用し、美しさや魅力を感じるような景観づくりを図ります。

## 都市防災



木之下調整池

- 新たな市街地(太田川駅西地区、加木屋中部地区、名和駅西地区)の整備を行うに当たっては、災害に強い土地利用・施設整備を図ります。
- 土地画整理事業の実施にあわせて、健全な市街地の形成と防災機能の一層の充実を図ります。街路については、幅員、構造などは防災の目的に配慮して計画します。公園、緑地、広場などは、都市防災の観点から適正な規模及び配置に注意し、拡充整備を図ります。
- 風水害等災害対策では、洪水、高潮等による災害を防止するため、水系一貫した改修や維持修繕が推進されるように努めます。
- 地震津波災害対策では、被災前の日ごろから市街地復興のための事前準備(事前復興計画)や地籍測量を進めます。

## 住宅・宅地の供給



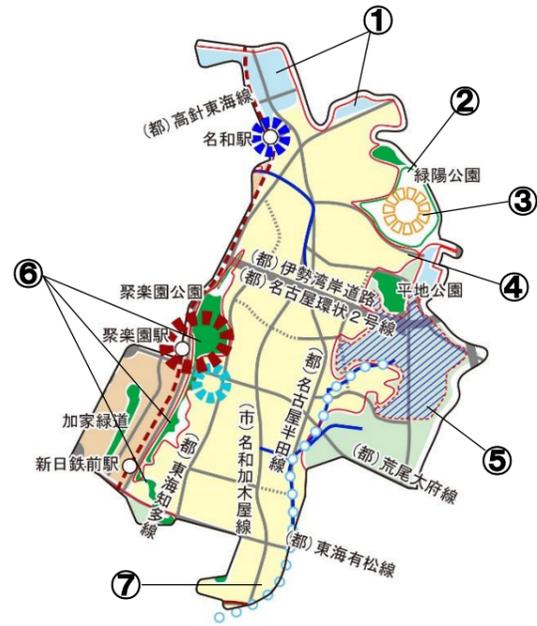
シティ高横須賀

- 子育て世代の定住化促進や高齢者の住み替え促進等により、全ての世代が安心安全で快適に暮らせるよう、各分野との連携や支援策等を活用しながら、住宅・宅地の供給促進のための施策を実施していきます。
- 今後も増加が予想される空家等に適切に対応します。

# 地域別のまちづくり方針

## 北部地域（緑陽/名和/渡内/平洲）

安心安全で暮らしやすい生活圏の形成と緑陽公園や聚楽園公園などの豊かな自然や産業活力に満ちたまち



- ① 公共下水道の整備
- ② 緑陽公園の整備
- ③ 【レクリエーション拠点】
  - ・自然とふれあうようなレクリエーション活動が行える場の確保に向けた整備
  - ・災害時のオープンスペースの確保や防災機能を有する整備
- ④ (市) 新池線の歩道の整備・検討
- ⑤ 広域交通体系の利便性を生かした新たな産業等の集積を図る市街地の形成を検討
- ⑥ 風致地区の保全
- ⑦ エコプロムナードの整備

### 地域全体の方針

- ・生活サービス施設の誘導が図られる土地利用を促進
- ・多様な移動手段を活用した移動交通サービスの充実を検討

## 東部地域（明倫/富木島/船島）

バスなどの移動しやすい交通環境の充実による便利で快適に暮らせる生活圏の形成と上野台公園などの豊かな自然に親しむ安心安全なまち



- ① (市) 伏見上野台線の歩道の整備
- ② (都) 名古屋半田線の4車線化整備の検討
- ③ エコプロムナードの整備
- ④ (市) 太田川駅前通り線の整備・検討
- ⑤ 大田川の河川改修

### 地域全体の方針

- ・生活サービス施設の誘導が図られる土地利用を促進
- ・バスの運行ダイヤの充実

## 中央地域（大田/横須賀）

太田川駅や尾張横須賀駅を中心に広域的な交流と歴史文化を生かしたにぎわいの創出を図るとともに、暮らしやすく産業活力に満ちたまち



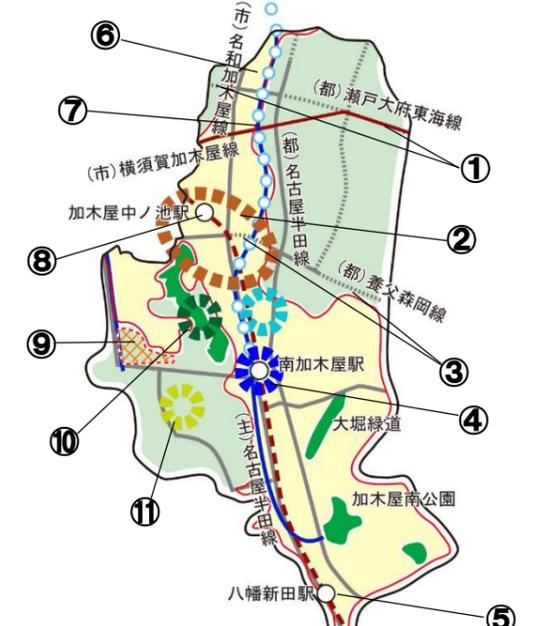
- ① 東海太田川駅西土地区画整理事業の推進
- ② 【レクリエーション拠点】
  - ・自然とふれあうようなレクリエーション活動が行える場の提供や充実
  - ・災害時のオープンスペースの確保
- ③ エコプロムナードの整備
- ④ (市) 太田川駅前通り線の整備
- ⑤ (都) 瀬戸大府東海線の4車線化整備
- ⑥ (都) 西知多道路大田IC(仮称)の整備
- ⑦ (都) 太田川駅前線の整備
- ⑧ 尾張横須賀駅西側の駅前広場及び景観整備
- ⑨ 広域交通体系の利便性を生かした新たな産業等の集積を図る市街地の形成を検討
- ⑩ 鉄道駅の利便性を生かした市街地の形成を検討

### 地域全体の方針

- ・都市拠点・広域交流拠点として多様な都市機能の集約・複合化

## 南部地域（加木屋/三ツ池/加木屋南）

加木屋緑地や加木屋南公園などの豊かな自然に触れあいながら、安心安全で快適な暮らしやすい生活圏が形成されたまち



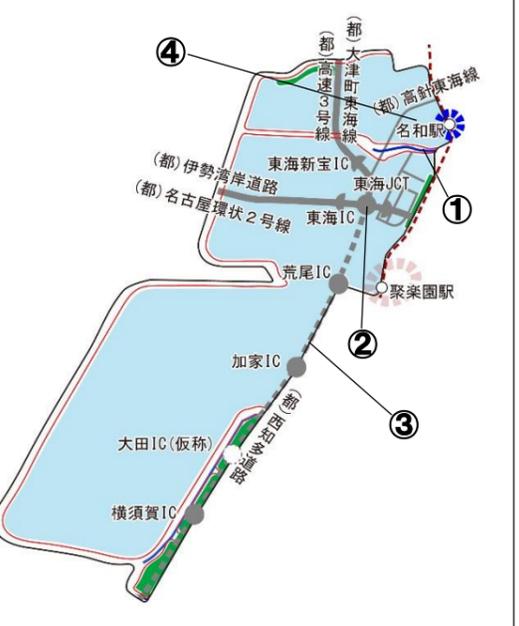
- ① (都) 瀬戸大府東海線の4車線化整備
- ② 東海加木屋中部土地区画整理事業の推進
- ③ (都) 養父森岡線の整備
- ④ 南加木屋駅東側の駅前広場及び周辺道路の整備
- ⑤ 八幡新田駅東側の駅前広場の整備・検討
- ⑥ 公共下水道(雨水)の幹線整備
- ⑦ 大田川の河川改修
- ⑧ 加木屋中ノ池駅及び南側駅前広場の整備
- ⑨ 鉄道駅の利便性を生かした市街地の形成を検討
- ⑩ 【自然環境再生拠点】
  - ・市民参加による里山機能の再生活動などを通じて自然とふれあうことのできる場として保全・活用
- ⑪ 【健康増進拠点】
  - ・自然環境の中で健康増進が図られる場の維持・利用増進

### 地域全体の方針

- ・生活サービス施設の誘導が図られる土地利用の促進

## 臨海部地域（新宝町の工業地域、元浜町の工業地域の一部、工業専用地域）

環境に配慮するとともに、西知多道路など広域交通機能の充実により企業活動の活性化が図られ、産業活力の満ちたまち



- ① 土留木川の河川改修の検討
- ② (都) 西知多道路(東海JCT)整備
- ③ (都) 西知多道路の6車線化整備の検討
- ④ 東海名和駅西土地区画整理事業の推進

### 地域区分



凡 例		都市拠点・広域交流拠点		地域生活拠点 (白抜きは構想)	
市街化区域界	鉄道・駅	都市拠点・広域交流拠点	健康福祉拠点	交通拠点	地域生活拠点 (白抜きは構想)
居住ゾーン	バス路線	健康福祉拠点	保健医療福祉拠点	レクリエーション拠点 (白抜きは構想)	交通拠点
産業ゾーン	高速道路・自動車専用道路 (路線は整備中、未整備または暫定供用)	保健医療福祉拠点	行政拠点	自然環境再生拠点	レクリエーション拠点 (白抜きは構想)
新市街地候補ゾーン(住居系)	幹線道路 (路線は整備中、未整備または暫定供用)	行政拠点	スポーツ文化拠点	健康増進拠点	自然環境再生拠点
新市街地候補ゾーン(産業系)	エコプロムナード(花・水・緑の基幹軸) (白抜きは未整備)	スポーツ文化拠点			健康増進拠点
緩衝ゾーン	河川				
農業緑地ゾーン					
主要な公園・緑地					

